○議長（茅沼隆文）

それでは、9番、井上三史議員、どうぞ。

○9番（井上三史）

9番、井上三史です。最後になりますけれども、お疲れのところ、よろしく願いいたします。

先に提出した通告文に沿って、「開成町水辺スポーツ公園の利便性向上について」、お伺いいたします。

開成町水辺スポーツ公園には、パークゴルフ場、軟式野球場、ソフトボール場兼少野球場、サッカー場、研修室などがある。指定管理者の統計によると、平成24年から平成28年までの5年間における施設の利用者数は、年間11万人を超えている。今後も、年間10万人以上の利用者数が見込まれる。その中でも、特にパークゴルフ場の利用者数は年間約8万1,000人で飛び抜けており、収入源のほとんどを占めている。

また、平成29年3月17日から3月31日までの期間に行われた「開成町水辺スポーツ公園利用者満足度調査及び現地調査報告書」によると、利用者は約30%が開成町内、約70%は町外となっております。来場者の約75%は自家用車である。

以上の現状を踏まえ、次の点についてお伺いいたします。①開成町水辺スポーツ公園の利用者数を当初何人と想定して建設したのか、②パークゴルフ場のコースを増設する予定は、③トイレ改修をどのように考えているのか、④駐車場を拡充する考えは、⑤軽食がとれる売店の考えは。

以上です。よろしく願いいたします。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

それでは、井上議員の御質問にお答えします。

開成水辺スポーツ公園は、井上議員のおっしゃるとおりに、年間で11万人を超える町内外から多くの方に御利用いただいております。平成22年度からは指定管理者制度を導入し、民間による維持管理・運営を行っておりますが、開成町総合型スポーツクラブの活動拠点にもなっており、関東初で整備したパークゴルフ場をはじめ様々なスポーツ、運動の場として皆様に御利用いただいております。

それでは、一つ目の質問の開成町水辺スポーツ公園の利用者数を当初何人と想定して建設したのかについて、お答えをいたします。

まず、開成水辺スポーツ公園の整備について、経過を説明いたします。

この公園は、神奈川県が想定した「酒匂川河川環境基本計画」に基づき、開成町が策定した「酒匂川水辺プラン事業」により、平成2年から平成5年度にかけて本格的なレクリエーション施設としてパークゴルフ場、親水水路、花のひろば、スポーツひろばの野球場、ソフトボール場、サッカー場、そしてピクニック広場、管理センター

を整備いたしました。「健康でいきいき過ごせるよう、子どもから高齢者まで全ての町民が何かしらのスポーツを生涯続けよう」という「開成スポーツプラン」の生涯スポーツの方針に沿って活用される施設として、平成6年4月に開園をいたしました。様々な人たちがそれぞれの楽しみ方ができる憩いの場として、町民をはじめ多くの方に親しみを持って利用していただくため整備したものでありますが、想定人数や計画人数については特に定めておりません。

なお、近年の公園利用者数の状況であります。指定管理者制度を導入した平成22年度から伸び続けており、平成28年度はやや下がっておりますが、年間11万人を超える多くの方に御利用いただいております。パークゴルフ場の利用者数については、この2年間は減っておりますが、指定管理者が独自に大会を主催したり誘致したり努力により年間8万人を超えております。これからもパークゴルフ場を中心に多くの方に公園を利用してもらえよう、サービスの向上に向けて、特にソフト面で指定管理者と連携し取り組んでいきたいと考えております。

次に、二つ目の御質問、パークゴルフ場のコースを増設する予定はについて、お答えをいたします。

こちらの御質問につきましても、経過から説明をさせていただきます。

開成水辺スポーツ公園のパークゴルフ場は関東で初めて整備されたものであり、3世代で楽しむニュースポーツとして、開園当初は18ホールからスタートしております。平成12年からは隣接する「ばら園」に簡易的に9ホールを設け、初心者向けコースとして運用してまいりましたが、平成22年9月に発生した台風9号の影響で全面冠水してしまった際に、利用者の声を反映し、復旧にあわせて、ばらコース9ホールを本格的なコースとしてリニューアル整備し、平成23年9月に再開をいたしました。平成25年5月からは、ばらコースの利用料金も徴収しております。現在、公園のパークゴルフ場は3コース、27ホールであり、県内パークゴルフ施設で27ホールを有するのは開成水辺スポーツ公園のみとなっております。

ところで、競技として全国規模の大会を開催するには36ホールが必要とされております。開成水辺スポーツ公園では、野球場外野部に仮設で9ホールを増設して36ホールを確保し、「あじさいカップ」、「しいがしカップ」、「全国大会」を開催しており、各大会とも300人規模の参加があります。

一方、常設9ホールを増設するには、公園は河川敷であることから河川法の制限があります。神奈川県から許認可を受けることは容易ではありませんが、実現に向けて総合計画第2期実施計画にパークゴルフ場改修を位置付け、必要な手続を進める考えで検討、調整をしてきました。

経過になりますが、9ホール分の面積を確保することは難しく、どこならば確保できるかも含めて、指定管理者からの提案を受けながら、実現化に向けて県西土木事務所とも調整を進めてきました。調整した結果として、現行の敷地内で確保する方法しがなく、仮に整備するとすればピクニック広場のみ整備の可能性があるという結論と

なりました。ここで、パークゴルフ場での各大会の運営や利用の主体である町パークゴルフ協会に意向確認を行ったところ、「ピクニック広場ならば利用しない」、「ピクニック広場ならば増設は必要ない」という回答がありました。

町としても、利用してもらえない施設はつくれないのでなかなか難しい問題であります。現在、町の方針としては、常設9ホールの増設はしない方向で今は考えております。各種大会を開催するにあたっては、従来どおり9ホールを仮設することで対応してもらいたいと考えております。なお、9ホール常設しないことは協会に意向を確認したものであることから、協会内で情報は共有されているという認識でございました。協会には、改めて申し伝えたいと思っております。

続きまして、三つ目の質問、トイレ改修をどのように考えているかについて、お答えをいたします。

開成水辺スポーツ公園には、管理センター、用具棟、サッカー場西側にイレが設置をしております。管理センターのトイレは男・女トイレのほか多目的トイレがあり、来園者全般の皆さんが使用しております。サッカー場西側トイレは、ソフトボール場やサッカー場などグラウンド利用者が主に使用しております。用具棟トイレは、主に作業員が使用するものとして倉庫内にありますが、パークゴルフ場利用者など一般の方も使用しております。

トイレの維持管理については指定管理者が施設管理業務の中で行っておりますが、これまでのところ、特に異常等の指摘は聞いておりません。そのため、現在、改修の予定はありません。今後も、トイレの状況、利用者ニーズを指定管理者に確認しながら、対応を検討していきたいと考えております。

次に、四つ目の質問、駐車場を拡充する考えについて、お答えをいたします。

駐車場については、現在、普通自動車で140台駐車することができます。週末やイベント時は混み合う場合もありますが、慢性的ではないと考えております。なお、現在、小田急線の橋脚耐震工事の現場事務所を設置する目的で駐車場の一部使用許可をしております。この工事が完了すれば、さらに10台程度は駐車することができます。

駐車場を拡充するのであれば現駐車場に隣接している場所が望ましいと考えますが、町が所有する土地ではパークゴルフ練習場ぐらいしか今のところ見当たりません。この場所を駐車場に利用することは考えられますが、外部へ新たに駐車場を拡充する考えは今のところ考えておりません。イベント時には、別に左岸側の駐車を案内したり利用者に乗り合いの協力をアナウンスしたりするなどして、現有施設を使うことで対応していきたいと考えております。

次に、五つ目の最後の御質問、軽食がとれる売店の考えはについて、お答えをいたします。

公園利用者からの「売店があったら良いのでは」という要望もあり、指定管理者から仕出しのチェーン店業者に出張販売の相談をしたところ、保健所の許可や採算面で

の課題があり、販売に至っていないのが現状であります。なお、自動販売機では、これまで飲料のみでしたが、昨年度からアイスの販売機を設置したところ、大変好評をいただいております。

また、イベント時にはキッチンカーを手配したり、日頃はインスタントのカップ麺、コーヒーなどのためのお湯の提供をしたりしております。軽食などの販売については、今後も指定管理者と調整しながら検討していきたいと考えております。

以上であります。よろしくお願ひいたします。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

それでは、2点目のパークゴルフ場のコース増設に関して再質問させていただきます。

常設の9ホール増設実現に向けて、総合計画第2期実施計画（平成28年から平成30年）にパークゴルフ場改修を位置付け必要な手続をされてきたとのこと、総合計画にどのように具体的に位置付けをされていたのかを、まずお伺ひいたします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員の御質問にお答えいたします。

総合計画第2期実施計画、こちらの期間につきましては平成28年度から30年度までとなっております。この中で開成水辺スポーツ公園管理事業という事業がございますが、その中で位置付けをしてございます。整備自体は平成31、32年度には整備をしていきたいという考えのもとで、平成29年度に測量調査、平成30年には許認可を含めた設計ということで計画に盛り込んでございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

総合計画の中には、きちんと平成29年、30年、31年、32年まで、ある程度、町としての計画的な位置付けはきちんと総合計画の中に位置付けられているという確認のもとに、これから少し意見を述べながら再質問を続けていきたいと思ひます。

開成町パークゴルフ協会としては9ホールをピクニック広場に整備する案への意向はない、したがって町は新たに増設する考えはないという町長答弁がありました。しかしながら、当パークゴルフ場では、毎年、「あじさいカップ」、「しいがしカップ」、「全国大会イン開成」という全国規模の三大大会では、そのたびに軟式野球場に仮設コースの富士見コース、9ホールをわざわざ確保して300人を超える大会を実施しているという実績があります。そのかいあって、年間8万人を超える利用者

集客している事実があります。

仮設でなく常設のパークゴルフ場を完備できれば、開成町水辺スポーツ公園のネームバリューはさらに上がることとなります。そこで、現27ホールの北側と南側を拡充し、9ホールを確保する考えはどうでしょうか。北側のサイクリングコースを十字橋寄りに移動してできたスペースに整備する。また、南側の作業道と植栽スペースを利用してコースを整備する。北側と南側、合わせて9ホール確保することができるのではないか。また、親水水路を暗渠にし軟式野球場を南にずらすことができれば、さらにコース整備面積がゆとりが持てることとなります。河川法の土地管理占有にかかわる24条と工作物にかかわる26条については、開成町の計画を神奈川県土木に示していけば、県土木としては相談に応じると言っております。いかがでしょうか。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

御質問にお答えいたします。

これまでも神奈川県西土木事務所に事前相談という形で、こういう場合はどうかというようなことの御相談をさせていただきながら、我々も河川法の制約の部分も見て、ピクニック広場であればというようなところの結論に至ったというところが昨年度ございました。

その中で、今、御提案の部分でございますが、まず北側の土地につきましては、公園用地ではない私有地が実は含まれてございます。

それと、南側の土地に関してですが、まず申したいのが、野球場の面積という、そのフィールドのところの面積を小さくすることは、これは町としても考えていないということになります。そのため、親水水路を暗渠化したらどうかという御提案であると思います。この暗渠化という部分でございますが、整備がかなり大規模なものとなるということと、施工にあたりましては断面の調査、深さの調査、そういった構造上のことですか、治水上の河川管理に問題がないかといった河川法の制約、かなり厳しいものがあると想定をされます。

そういうことで、北側と南側で、それぞれで合わせて9ホールを確保するという御提案につきましては、土地の所有者の方との調整ですとか、実際に施設、野球なら野球をやられている方がいらっしゃいますので、その方々との調整、また工事をやった場合の断面、水量の調査と可能性というようなことをやった上で、河川法の制約をクリアできるかといった大きなハードルがあると思います。これまで調整した県等に事前相談させていただいていたところから考えますと、現実的には最も、費用面、また調整の部分、また法的にもかなりハードルが高いと考えるところでございます。

また、親水水路を暗渠化という考えでございますが、この水路につきましては上流地区の冠水を防止するための施設ということも兼ねております。また、なだらかな階段で石積みで、子どもたちが安心して水遊びができるよう整備したという当初の目的

がございますので、そういった役割なども考えなければいけないということになります。そういったことで総合的に考えますと、現実的にはかなり厳しいというものではないかと考えるところでございます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

町長。

○町長（府川裕一）

パークゴルフ場の増設については、私も選挙のときの公約でありますし、総合計画の中でもきちんと位置付けて増設を考えていきたい。それは何かといえば、平成32年にねりんピックがあるということで、河川敷の活用について、なかなか平時であっても許可を取るのが難しい中で、そういうときにあわせて増設すれば県の許認可が取りやすいのかなという思惑の中で9ホール増設をしていきたいと思っています。

いろいろ今、調整をして、井上議員が言われたようにいろいろなところも考えたのですけれども、県の調整の中で、一番端の南のところなら何とか認可が取れそう、取れているわけではないのですけれども、可能性があるということで、そこに9ホールをつくることなら可能性があるということなのですけれども、そこに9ホールをつくった場合、今ある既存のパークゴルフ場と新しくつくる9ホールが大分離れているということで、協会の役員さんほか様々な方にそこら辺の事前の中で話をさせていただいた中で、あそこにつくっても普段、使いにくくてしょうがないという中で、それなら要らないよという話が出てきた中で、そういった中で、あそこに9ホールをつくるのは難しいという中で、今、方向転換をさせていただいたということで。

皆さん方には9ホール増設のお約束をさせていただいたのですけれども、ここで修正をして、なかなか厳しいという中で方向転換をさせていただいたということの中の答弁というふうに御理解いただきたいなと思います。

以上です。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

課長と町長の経緯の説明を聞いておりますと、確かに、ハードルはかなり厳しいということは理解できてきました。この点に関しては、私も、もう少し研究をしていきたいと思っております。また別の機会に質問していきたいなと思っておりますので、よろしくお願いたします。

それでは、三つ目のトイレ改修について、再質問いたします。

施設利用者からは、和式便器を洋式便器にしてほしい、また夏場、トイレのにおいが気になるという声が上がっております。トイレの改修予定は全くないのでしょうか、また、どのように管理していくのでしょうか。その辺についてお伺いたします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

議員の御質問にお答えいたします。

トイレに関しましては、今、管理センター、用具棟、サッカー場西側のトイレというところがございますが、全て浄化槽で、指定管理者が業者委託をして法定検査、保守検査、また清掃を行っているところでございます。そこで、点検等の中で機能的な異常はないということで指摘が特にないということでしたので、改修の予定はないという回答をさせていただいていたところでございます。

そこで、管理棟のトイレにつきましては、皆さんが全般、多くの方が管理棟を使われるということで、改めてトイレの和式、洋式という部分の中を確認させていただきました。そうしたところ、現状なのですが、男性用は小便器が三つと和式が1、洋式が1、女性用トイレが洋式が2、和式が1、多目的用のトイレは洋式が1ということになっているのですが、女性用の和式につきましては、こちらは、やや便器が小さくて、子ども用の大きさぐらいしかないというところが分かりました。大人の方には、やや使いづらいというようなところがありそうだとということがございましたので、こちらにつきましては、今、トイレも一つは和式がなければということではなくて、オール洋式化をしている施設というのも少なくないというようなところもございますので、トイレの改修につきましては、指定管理者に状況ですとか利用者ニーズなどを確認した中で、和式から洋式にするというような部分も含めて、現状を確認しながら検討、調整をしていきたいと思っております。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

和式が洋式になれば利用者の使い勝手はかなり良くなりますので、改修に向けて進むことを期待します。

それでは、四つ目の駐車場拡充について、再質問させていただきます。

先の町長答弁では、外部へ新たに拡充する考えは現在のところない、現有施設を使うことで対応したいということでしたので、駐車場についても提案させていただきます。小田急線橋脚耐震工事現場事務所に貸してある駐車場についてですが、工事が終わり事務所が撤去された後、手前の駐車場と一体化させたらどうでしょうか。その際、進入口及びその横にある植栽を取り除き、舗装することにより、駐車場としての利便性は向上すると思っております。駐車できる車も数台増えると見込まれますが、いかがでしょうか。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。答弁は簡潔に、的を絞ってお願いします。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

お答えいたします。

確かに、おっしゃるとおり、何台か駐車台数というのは増えるかというふうなことはあると思いますが、町長の答弁でもございましたとおり、現在、慢性的なものではないと考えますので、現有施設、今ある施設を使うということで対応したいと考えます。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

駐車場は、平日は確かに使われておりますけれども、土日とか祭日は、かなり実は混雑なのです。これは、私も実際に行ってみて混雑具合を確認しております。また、いろいろ写真を撮りながら私なりに調べていく中で、やはり駐車場が、より使い勝手が良くなるということは駐車場内の事故を防ぐことにもなりますし、その辺は今後とも検討を続けていくべきであるということを指摘しておきたいと思います。

では、五つ目の軽食がとれる売店については、今後も指定管理者と調整しながら検討したいとしているため特に再質問はありませんが、同じく利便性の向上ということで質問させていただきます。

パークゴルフ場の利用に関し、利用者からは様々な要望が出ております。例えば、1人でのプレイ、1日券、半日券、回数券の導入はいかがでしょうか。他施設では実施しているところもあります。担当課長の所見をお伺いいたします。

○議長（茅沼隆文）

自治活動応援課長。

○自治活動応援課長（遠藤直紀）

御質問にお答えいたします。

1人でのプレイ、1日券、半日券など、こういった制度の導入につきましては、指定管理者からも、実は、そのようなものはどうかというようなお話はいただいたことがございます。町の開成スポーツ公園の設置及び管理に関する条例において、指定管理者が町長の承認を得て料金等は決めることになってございます。そういったことでございますが、この提案につきましても、個人であるならば時間帯ですとかがございますし、1日券であれば料金をどうするかというようなこともございます。この辺は指定管理者と調査・研究しながら、まずは検証等をしていきたいと思います。

以上でございます。

○議長（茅沼隆文）

井上議員。

○9番（井上三史）

ぜひ、水辺公園を利用する方々の声を真摯に受け止めていただいて、可能な限り利便性向上のため、今後も指定管理者とともに研究、調査を進めていっていただきたいと思います。

さて、平成6年4月に開園した開成町水辺スポーツ公園も23年が経過しております。スポーツ公園内の施設も、20年が経過するとメンテナンスが必要になります。利用者の要望をつかみながら利便性向上を追求していったこそ、開成町水辺スポーツ公園の集客力が維持されるものと考えます。計画的な維持管理を期待したいものです。リピーターも増えれば、開成町のブランド力、魅力も上がるというものです。ぜひ、その辺のところをよろしく願いいたします。

以上をもって私の質問を終わります。ありがとうございました。

○議長（茅沼隆文）

最後に、町長、残り1分でお願いします。

○町長（府川裕一）

いろいろ井上議員から御提案をいただいた中で、やはり20何年も経っている以上は、いろいろな施設の、長期的なものを含めて、改修をしていく必要があると思えます。トイレの問題、駐車場も今ある中で、できる部分においては考えていきたいし、いろいろな提案の中で利用者を増やしていくというのはすごく大事になってくると思えます。利用者を増やすために今回「町長杯」という新しく大会をつくらせていただきましたので、様々な提案をいただきながら、水辺スポーツ公園、パークゴルフ場の今後のあり方について、きちんと長期計画を立てながらいろいろな改修も含めて考えていきたいと思えますので、よろしくお願いします。

○議長（茅沼隆文）

これで、井上議員の一般質問を終了いたします。